

事業の経緯

主な経緯	
平成23年 3月11日	東日本大震災の発生
平成23年 12月	東松島市復興まちづくり計画を策定
平成24年 8月 7日	防災集団移転促進事業計画の大臣同意
平成24年 11月16日	防災集団移転促進事業計画の第1回変更同意
平成24年 11月27日	復興整備計画にもとづく開発許可公表
平成24年 12月19日	矢本西地区まちづくり整備協議会設立総会を開催 (協議会の発足)
平成25年 1月20日	協議会第1回全体会を開催(移転エリアの確認)
平成25年 1月25日	造成工事の着手
平成25年 3月 5日	協議会第2回全体会を開催 (土地利用計画・画地位置決め方法の検討)
平成25年 5月19日	協議会定期総会を開催(土地利用計画の確認)
平成25年 6月 8日	協議会第3回全体会を開催(画地位置決めルールの確認)
平成25年 7月13日	画地抽選会を実施(希望選択により重複した世帯について 抽選を実施し、移転者の画地位置を決定)
平成25年 8月11日	協議会第4回全体会を開催(まちづくりルールの検討)
平成26年 2月 2日	協議会第5回全体会併せて融資勉強会を開催 (まちづくりルールの決定・土地引き渡しの流れ確認)
平成26年 2月23日	協議会員懇談会及び造成工事現場見学会を開催
平成26年 3月23日	移転先地貸付に係る説明会を開催
平成26年 4月 7日	借地契約申請開始
平成26年 4月18日	災害公営住宅入居予定者懇談会を開催
平成26年 5月11日	協議会定期総会併せて勉強会(住宅再建関連)を開催
平成26年 6月10日	画地の引き渡し

発行：東松島市

〒981-0503 東松島市 矢本字 上河戸 36 番地 1

TEL 0225-82-1111



矢本西団地 防災集団移転促進事業

あの日を忘れず ともに未来へ
～ 東松島一心 ～



 東松島市

東日本大震災からの復興に向けて

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により多くの尊い人命が失われ、住宅や都市基盤に壊滅的な被害をもたらしました。

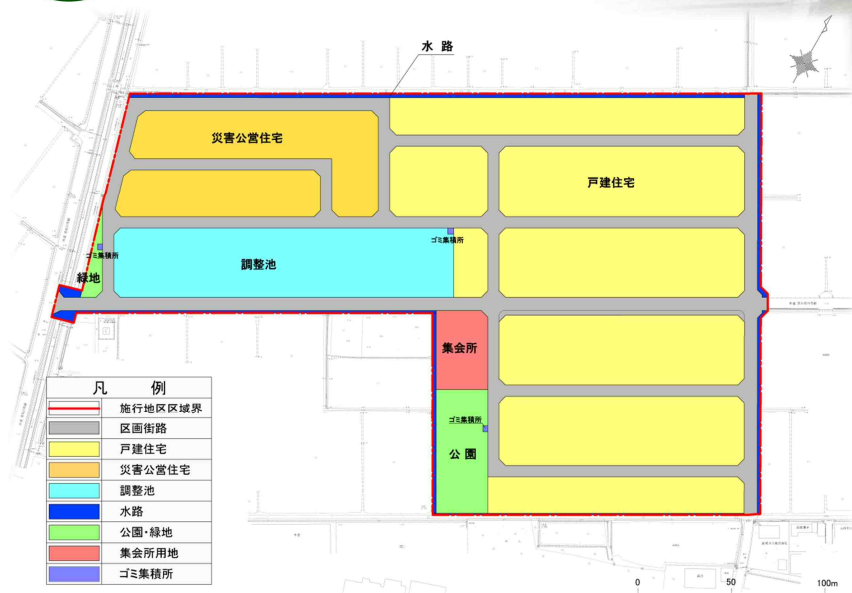
このため、本市では『東松島市復興まちづくり計画（平成 23 年 12 月）』を策定し、市民が一日でも早く安全かつ安心に暮らせるまちづくりの実現を目指しています。

防災集団移転促進事業は、東松島市復興まちづくり計画に基づき、市域沿岸部で被災した市街地・集落について内陸部への集団移転を進めるため、住宅団地の整備を行うものです。

事業の概要

- 事業名称 東松島市防災集団移転促進事業（矢本西団地）
- 施行者 東松島市
- 施行面積 6.0ha
- 事業費 約 12 億円
- 計画戸数 127 戸（戸建住宅：87 戸、災害公営住宅：40 戸）
- 計画人口 390 人（人口密度 64 人/ha）
- 施行期間 平成 24 年 12 月～平成 27 年 3 月

土地利用計画



土地利用面積

種別	整理前		整理後	
	面積 (㎡)	%	面積 (㎡)	%
公共用地	道路	5,722	13,309	22.0
	公園・緑地		2,098	3.5
	調整池・水路		8,510	14.1
	小計		23,917	39.6
農地	54,749	90.5	—	—
住宅地（戸建住宅）	—	—	28,568	47.2
住宅地（災害公営住宅）	—	—	6,806	11.3
集会所	—	—	1,153	1.9
ゴミ集積所	—	—	27	0.0
合計	60,471	100.0	60,471	100.0

矢本西地区の概要

本地区は、東松島市の中心部よりやや西側に位置しています。水田を主体とした農地が広がり、地区北側に三陸自動車道（矢本 IC）、地区南側には国道 45 号、JR 仙石線が並行して東西方向に通過し、石巻市や仙台市へ向かう主要な道路や鉄道が近接した交通の利便性に優れた地区です。

また、地区の東側約 800m には矢本西小学校が立地し、さらに市役所本庁舎、矢本第一中学校、イオンタウン等の公共施設や商業施設が近接した立地条件に恵まれた地区であり、快適な住環境を有する魅力ある住宅団地です。



矢本西地区まちづくり整備協議会の運営

矢本西地区への移転を希望している世帯で組織化する「矢本西地区まちづくり整備協議会」により、これまで土地利用計画、画地位置決めルール、まちづくりルールなどの事項を協議してきました。

被災者の一日も早い生活再建と復興まちづくりの円滑な推進、さらには、快適で安全に居住できるまちの実現に向けて、住民と協働のまちづくりを進めています。



造成前の写真

